第一章　三島由紀夫という《想像的人間》——方法　12
第二章　殺害者と海　64
第三章　論理的背理としての私——『仮面の告白』考　146
第四章　三島の文体と《存在欲望》の行方　224
第五章　美的テロリズム　268
補章　三島由紀夫論史批評　322
あとがき　386